

タイトル

岐阜市芥見清水地内の土壤汚染について(第2報)

ポイント

- 岐阜市芥見清水地内の国道156号岐阜東バイパス建設予定地周辺の井戸水調査を実施しました。
- 1か所で「鉛」が環境基準を超過していたため、調査範囲を拡大します。

詳細

1 概要

3月19日 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所から、国道156号岐阜東バイパス建設予定地(芥見清水地内)で、自主的に土壤汚染状況調査を行った結果、特定有害物質の「鉛」の基準超過地点が、1か所あった旨の報告がありました。

よって、土壤汚染の判明した場所から半径80m*の範囲内にある井戸2本の水質検査を実施したところ、1本の井戸で環境基準を超過していました。

(※土壤汚染対策法に基づくガイドラインによる)

2 調査結果

検出値(この検出値は、直ちに健康に影響を及ぼすものではありません。)

項目	調査検体数	基準超過数	基準	調査結果
鉛	2	1	0.01 mg/L 以下	0.017 mg/L

3 今後の対応

基準を超過した井戸から半径80mの範囲内の井戸水調査を実施し、その調査結果を公表します。